



Society5.0時代の 国際物流

～ポストコロナへの対応とは～

グローバルな電子商取引の興隆、AI・IoTやビッグデータ分析に代表される技術革新などを背景に日々進化する国際物流。それは新型コロナウイルスの感染拡大を契機に加速し、今後も更なる変化が予想されます。本シンポジウムではポストコロナの世界を見据え、有識者の皆様とともに、我が国の国際競争力を維持・強化するための課題や方策、税関のあり方について考えます。

YouTube
無料配信

日時

[ライブ配信]

令和3年4月20日（火）
13:30～16:15

※ 視聴いただくためには、
事前にお申し込みが必要
となります。

【〆切：4月15日（木）】

基調講演 [13:35～14:20]

コロナ禍がグローバルロジスティクスに与えた
影響とポストコロナ時代の展望



新型コロナウイルスの感染拡大は、世界中のサプライチェーンに大きな爪痕を残しました。本基調講演では、新型コロナウイルスがもたらした影響を多角的に分析することで、今後のグローバルロジスティクスを考察します。

講師：田阪 幹雄 氏（㈱日通総合研究所リサーチフェロー）

ディスカッション [14:35～16:05]

Society5.0時代の国際物流

グローバル化が進んだ現代。多くの企業がグローバルサプライチェーンを構築することで活動しています。ただ、ポストコロナの世界では、既存のサプライチェーンの抜本的な見直しを迫られる可能性も否定できません。ディスカッションパートでは各分野の有識者にご参加いただき、デジタル化やDX（デジタルトランスフォーメーション）も進展する中、グローバルサプライチェーンがどのようにに変化するのか、また、その変化の中で我が国企業が国際競争力を高めるためのアイデアなどを議論します。

参加：岡藤 正策 氏（㈱阪急阪神エクスプレス代表取締役会長・（一社）日本通関業連合会会長）
（五十音順）小島 裕久 氏（㈱トレードワルツ代表取締役社長）
田阪 幹雄 氏（㈱日通総合研究所リサーチフェロー）
田中 庸介 氏（シスメックス㈱H.U.事業推進本部長）
森 隆行 氏（流通科学大学商学部教授）

[モデレーター]

佐藤 正之（神戸税関長・前内閣官房日本経済再生総合事務局次長）

□ 視聴をご希望の方は下記URLにアクセスの上、必要事項をご記入いただきお申し込みください。
ただし、4月2日（金）はサーバーメンテナンスのためお申し込みができませんので、あらかじめご承知おき
願います。

〔視聴お申込用URL〕

<https://kobecustoms-yoyaku.rev.nj.jp/>

スマートフォンから
お申込できます



□ お申込みいただいた方には、後日、お申し込みの際に登録いただいたメールアドレス宛に視聴用URLをご連絡いたします。
□ お申込みの際にご記入いただいた個人情報、ご本人の承諾なく本シンポジウムの実施目的以外には使用いたしません。



Society5.0時代の国際物流

～ポストコロナへの対応とは～



【登壇者略歴（五十音順）】



岡藤 正策 氏（株式会社阪急阪神エクスプレス 代表取締役会長）

1974年、立教大学社会学部を卒業。同年、(株)阪急交通社（現(株)阪急阪神エクスプレス）に入社。取締役執行役員（国際輸送事業本部西日本営業本部長）、取締役常務執行役員（国際輸送事業本部 副事業本部長、東日本営業本部長）を歴任し、2010年、同社代表取締役社長に就任。2018年4月から現職。また、（一社）日本通関業連合会の役員（2019年、会長に就任）として、長らく我が国の通関手続きの発展に寄与した功績が称えられ、2020年秋の叙勲・褒章において、黄綬褒章を受章。



小島 裕久 氏（株式会社トレードワルツ 代表取締役社長）

1988年、明治大学政治経済学部経済学科を卒業。同年、日本電信電話株式会社に入社。株式会社NTTデータにおいて、第一金融事業本部金融社会インフラビジネスユニット 新日銀ネット統括部長、第一金融事業本部金融社会インフラ事業部長、金融事業推進部デジタル戦略推進部長などを歴任し、2018年、同社金融事業推進部ビジネス戦略部長に就任。2020年4月、株式会社トレードワルツの設立にあわせ、同社の初代代表取締役社長に就任。



田阪 幹雄 氏（株式会社日通総合研究所 リサーチフェロー）

1978年、中央大学法学部政治学科を卒業。同年、日本通運(株)に入社。1983年に貿易研修センター（IIST：Institute of International Study & Training）を卒業。1983年～1984年、1987年～1994年及び1999年～2008年の通算17年間、米国日通勤務（シカゴ・ニューヨーク）。2008年、(株)日通総合研究所に入社し、コンサルティング部門統括、専務取締役等を歴任。2018年5月から現職。著書に「グローバルロジスティクスと貿易」（共著）。



田中 庸介 氏（シスメックス株式会社 HU事業推進本部長）

1988年、徳島大学工学部精密機械工学科を卒業。同年、東亜医用電子(株)（現シスメックス(株)）に入社。以来、多くの医療機器・診断薬の新製品開発に従事。2008年、診断システム開発グループ 部長、2015年、生産統括本部長としてグローバル生産の統括管理を担当。2019年から現職。



森 隆行 氏（流通科学大学商学部 教授）

1975年、大阪市立大学商学部を卒業。同年、大阪商船三井船舶(株)に入社。同社大阪支店輸出第二課長、広報課長、営業調査室室長代理を歴任し、1997年、AMT GmbH（Deutscheland）社長、2004年、(株)商船三井営業調査室主任研究員に就任。2006年4月から現職。また、日本海運経済学会副会長なども務める。最近の研究テーマは「アジアの物流」、「Halal Logistics」、「コールドチェーン」など。著書に「海上物流を支える若者たち」、「新訂・外航海運概論」など。



佐藤 正之（財務省 神戸税関長）

1987年、東京大学経済学部を卒業。同年、大蔵省（現財務省）入省。財務省大臣官房参事官（関税局関税課担当）、財務総合政策研究所研究部長、財務省関東財務局総務部長、日本たばこ産業(株)財務副責任者、財務省九州財務局長などを歴任し、2018年、内閣官房日本経済再生総合事務局（成長戦略担当）次長に就任。2020年7月から現職。